

“「エコの輪」と「地域の和」” モデルの構築

平成14年から12年間にわたり一般公開の環境学習会や講座を展開し、市民が実践できる低炭素生活モデルの普及を行ってきた。

平成21年度から平成24年度までの4年間では、自治会・大学・企業・行政等の協力を得て、市民レベルで取り組みやすいゴーヤの育成を通じて環境家計簿（678世帯）や自家用車の抑制（コミュニティバスの利用により約28トンCO₂削減）、省エネルギー手法などを用い「エコの輪と地域の和」モデルを構築した。さらに平成23年度にはゴーヤカーテンの普及に特化した別団体「流山ゴーヤカーテン普及促進協議会」の立ち上げに寄与し、地域の環境コーディネーター的役割も果たしている。



子どもから大人まで幅広い世代を対象に行われる出前講座



ゴーヤカーテンの内外で熱環境調査